

2016/01/12掲載

2017/05/31更新

サンプルご提供のお願い

ボランティアを募集しています

研究課題名: ヒト腸内における難培養性細菌の多様性の解明とバイオリソース整備

糞便を提供していただける胃腸の元気な方を募集しています。

この研究は、文部科学省及び厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って、理化学研究所の倫理審査委員会の審査を受け、理事長の承認を得て進めています。

研究の目的やサンプルの取扱い方法、個人情報取扱いなどは、下記(2枚目)に記しました。

本研究にご協力いただける方、また、ご興味のある方は、下記までどうぞお気軽にご連絡ください。図等を使って、詳しく説明させていただきます。

よろしくお願ひ申し上げます。

<連絡先>

理化学研究所 バイオリソースセンター
微生物材料開発室 専任研究員 坂本光央

TEL: 029-836-9565 (内線: 92-3315)

E-mail: sakamoto@riken.jp

研究期間を延長しました。

旧: 平成27年4月1日から
平成31年3月31日まで

新: 平成27年4月1日から
平成32年3月31日まで

* サンプル収集の背景

ヒトの腸内(糞便)には様々な微生物(細菌)が数多く棲みついていることが明らかになっています。近年ヒトの腸内に存在する細菌については遺伝子(DNA)レベルでの研究が非常に進んでいます。しかし、培養が難しい細菌(難培養性細菌)も多く、それぞれの細菌に関する研究はあまり進んでいないのが現状です。

* サンプル収集の目的

本研究では、新しい培養法を用いヒトの糞便から難培養性細菌を分離し、その性質を調べます。また、得られた分離株を多くの研究者がその分離株を研究に活用できるように、微生物保存機関(微生物を収集・保存し、研究や教育などのために菌株の提供を行う機関のことをいいます)に預けます。さらに、糞便サンプルより細菌由来のDNAを調製し、培養せずに難培養性細菌の種類を調べることも計画しています。

* ご協力いただきたい内容

健康な方(炎症性腸疾患などの病気にかかっておらず、過去半年にわたり抗生物質による治療などを受けていない方):20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代の各年代3名の計21名を予定しています。

糞便約1グラムと年代、性別についての情報の提供をお願いしたいと思います。

なお、本研究はボランティアとしての参加です。この研究へのご参加に対してあなたに報酬が支払われることはありません。

* 個人情報の取扱い並びに研究結果の開示について

糞便に関する情報は年代・性別のみを使用して、あなた個人を特定できる情報は削除して、研究を行います。情報を厳格に管理しますので、あなたが特定されることはありません。また、研究結果を提供者ご自身へお返しすることはいたしません。研究成果は論文として発表するとともに、その研究成果の概要をバイオリソースセンターホームページ等でお知らせする予定です。